

20年前、新大久保駅で亡くなった^{イ・スヒョン}李秀賢氏の想いを繋ぐ ～日韓交流の懸け橋をめざす韓国の高校生がオンラインで交流～

国際交流基金（JF）は、2001年にJR新大久保駅で線路に落ちた日本人を助けようとして犠牲になった、韓国人留学生の李秀賢（イ・スヒョン）氏の遺志を継ぎ、将来の日韓交流を担う韓国の高校生を2002年から毎年招へいしています。

本年は、亡くなられてから20年目という節目を迎えますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、これまでの訪日研修ではなくオンラインで研修を実施します。参加者は、韓国で日本語を学習し、日本に関心をもつ韓国の高校生19名です。日本の高校や大学等との交流活動を通じて、日本の文化や社会への理解を深める機会とします。また、1月30日（土）を「李秀賢氏を知る」日とし、故人について学び、話し合うプログラムを予定しており、同氏の功績を顧みると同時に、将来の日韓関係について若者の視点から考えます。

今回で20回目となる本研修の参加者は累計300名を超えます。研修をきっかけに、より一層日本に関わりたいと考えた参加者も多く、大学の日本関係学科に進んだり、日本へ留学や就職をしたりと、両国の懸け橋として活躍しています。



日本文化体験：着付け（2019年度）



京都研修旅行：北野天満宮にて（2019年度）

記

事業名称：李秀賢氏記念韓国青少年研修（オンライン）
 主催：国際交流基金 関西国際センター
 開催日程：2021年1月27日（水）～2月10日（水）の15日間
 1月30日（土）「李秀賢氏を知る」授業
 2月5日（金）大阪府立佐野高等学校との交流
 2月6日（土）オンラインホームビジット
 2月7日（日）オンラインツアー（東京・京都・奈良）
 2月8日（月）立命館大学国際関係学部との交流
 協力：立命館大学国際関係学部、大阪府立佐野高等学校

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）
 Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044
 E-mail: press@jpf.go.jp



KUMAKURA

こうした状況
 下ですが、デ
 ジタルネイテ
 イブの高校生
 たちはオンライン
 たちでも活発
 インでも活発
 な交流を展開
 してくるこ
 とでしよう。

主な内容：韓国で日本語を学習し、日本の社会文化に関心を持つ韓国の高校生を対象に、日本語及び日本の文化・社会への理解を深めるための授業を実施すると共に、日本の同世代の青少年との交流を実施し、相互理解を深める機会を提供するプログラムです。本年はオンラインでの実施となりますが、オンラインツアーやオンラインホームビジットの実施、日本の高校生や大学生との交流を予定しています。

以上

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp



KUMAKURA

こうした状況
下ですが、デ
ジタルネイテ
ィブの高校生
たちはオンラ
インでも活発
な交流を展開
してくるこ
とでしよう。